

研究実施のお知らせ

2025年3月17日 ver.1.1

研究課題名

変形性股関節症患者の尿失禁症状と関連する因子を明らかにする後方視的研究

研究の対象となる方

2021年10月から2025年3月の間に島根大学医学部附属病院で変形性股関節症と診断され、人工股関節全置換術を受けられた方

研究の目的・意義

変形性股関節症は、主に加齢によって関節軟骨の摩耗が進み、関節の変形をきたして痛みや動きの悪さ、歩行の障害を引き起こす疾患ですが、60%程度の方が尿失禁（尿漏れ）の症状を有することがわかっています。変形性股関節症の患者さんになぜ尿失禁の症状が起こるのかははっきりと解明されていませんが、股関節の周囲のある筋肉の働きが悪くなることがその一因ではないかと推定されています。そして、変形性関節症にともなって脚の長さが短くなること、骨盤が傾くことがこの筋肉の働きを悪くしているのではないかと着目し、それを検証する研究を計画しました。

一般的な尿失禁では高齢、肥満、出産経験が発症に関わる因子として明らかとなっていますが、これに加えて変形性股関節症で起こる尿失禁に関わる因子が明らかになれば、今までとは異なる新たな治療法を考案するきっかけとなる可能性があります。

研究の方法

島根大学医学部附属病院の電子カルテから以下の情報を取得します。

- 1) 年齢
- 2) 身長・体重
- 3) 尿失禁評価質問票 ICIQ-SF (International Consultation on Incontinence Questionnaire-Short Form)
- 4) 術前股関節機能評価スコア (JOA、HHS、JHEQ)
- 5) 術前単純X線における脚長差
- 6) 術前単純X線における骨盤傾斜角度

手術前に尿失禁のあった群となかった群に分けて、上記の項目を比較し、尿失禁症状と関連のある項目を探索します。

診療で用いた検査結果のみを使用しますので、研究のために新たに検査を追加する

ことはありません。

研究対象の患者さんの情報は島根大学医学部整形外科学講座内の PC に保管され厳重に管理されます。また、データは氏名、患者 ID を削除して収集するため個人が特定されることはありません。

研究の期間

2025 年 4 月 16 日～2026 年 3 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院リハビリテーション部 福谷早耶香

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2025 年 10 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院リハビリテーション部 福谷早耶香

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2457 FAX 0853-20-2305